

2009年4月2日

トヨタホーム 新商品「シンセ・ソレスト」・「シンセ・はぐみ」を発売 “省エネ・創エネ”の「環境住宅」と「子育て世代向け商品」 業界トップクラスの断熱性を実現、CO₂排出量を大幅削減

トヨタホーム株式会社（以下、トヨタホーム）は、鉄骨ユニット工法の戸建商品「シンセシリーズ」に、トヨタホームの“環境フラッグシップ商品”となる、建替層向けの「シンセ・ソレスト*1」と、一次取得層・子育て世代向けの「シンセ・はぐみ*2」の2商品を、4月25日（土）よりトヨタホーム販売店を通じて発売する。

トヨタホームは今回、「シンセシリーズ」の環境性能を大幅にアップさせた。家からの熱損失量を示す「Q値」は1.86（IVb地域・トヨタホームモデルプランでの数値）と業界トップクラスの断熱性を実現。また、CO₂排出量を1990年頃に建てられた一般的な住宅に比べ約5%削減、水道光熱費も大幅に削減でき、「太陽光発電システム」を搭載すれば、実質CO₂ゼロも達成できる。

「シンセ・ソレスト」は、こうした高い環境性能を標準にした“省エネ・創エネの家”で、“家計にも環境にも優しい住まい”。「最長60年保証」の高耐久性を誇る長寿命の構造体、間取り可変性といった従来からの特徴に加え、08年11月、実際の建物を使った公開実験で効果を実証した制震装置「T4システム」をオプションで用意、定評ある高耐震性で、さらに「安心」をプラスした。

「シンセ・はぐみ」は、子育てをサポートする生活提案と、トヨタホームならではの間取り可変対応力を活かした、将来のリフォームを提案する商品。「最長60年保証」の安心感を有しながら、お求めやすい価格を設定した。延床面積109.4㎡の代表プランで税抜価格1,515万円（税込価格1,591万円）は、トヨタホームでの普及価格帯商品になる。

トヨタホームは、この2新商品によって商品ラインナップを充実させることになり、建替・2世帯層を「シンセ・ソレスト」で、また、一次取得者の普及価格帯層を「シンセ・はぐみ」でカバーすることにより、販売戸数の拡大を図る。販売目標戸数は、それぞれ300戸（初年度）。

本体販売価格は、「シンセ・ソレスト」が、代表プラン（延床面積149.4㎡）で2,729万円（税込）。坪（3.3㎡）当たり60.3万円（税込）。「シンセ・はぐみ」が、代表プラン（延床面積109.4㎡）で1,591万円（税込）。坪（3.3㎡）当たり48.1万円（税込）。（価格はいずれも参考標準販売価格）

※1「ソレスト」：「SOLAR（太陽の）+REST（休息）」。「太陽光を浴びて、ゆっくりくつろげる家」を表現。

※2「はぐみ」：「HUG（愛情を持って抱きしめる）+育む」。「子どもを健やかに育む家」を表現。

新商品「シンセ・ソレスト」、「シンセ・はぐみ」の商品特徴は、以下のとおり。

<シンセ・ソレスト>

- ・40、50代の建替え・2世帯層をメインターゲットとしたフリープラン商品。
- ・次の世代へ引き継げる「ずっと、ここちのいい家」が商品コンセプト。
- ・家計にも環境にも優しい住まい。

1. 光熱費とCO₂排出量を削減する、省エネ・創エネの家

①業界トップクラスの断熱性能で、高い省エネを実現

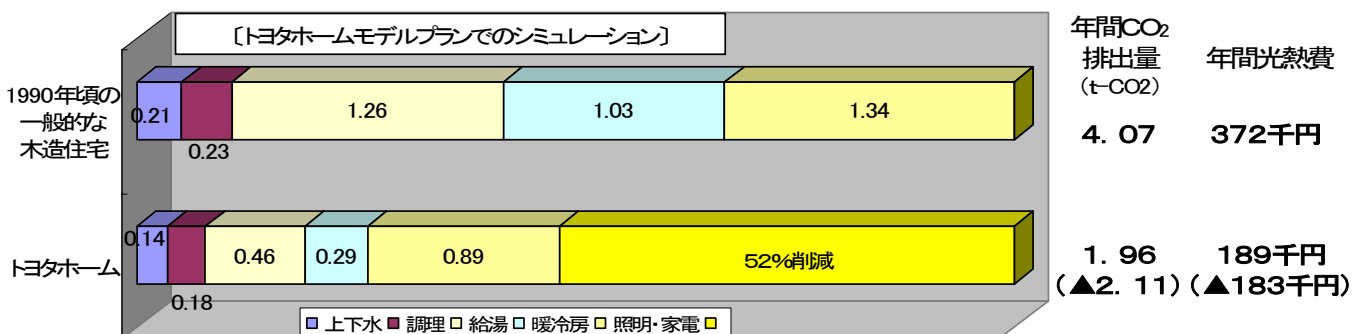
- ・すべてのサッシを、熱を伝えにくい樹脂を使ったアルミ樹脂複合サッシに変更。熱の出入りしやすい開口部の熱損失を低減。
- ・家全体の空気をキレイに保つ、換気システム「ピュア24セントラル」を標準装備。熱交換機能があるため、室温に近い温度で外気を取り入れることができ、換気による冷暖房負荷を低減。
- ・高性能断熱材を使った断熱性能と合わせ、Q値^{※3}を1.86（IVb地域^{※4}；従来2.12）に向上。業界トップクラスの断熱性を実現（トヨタホームモデルプランでの数値）。

※3 Q値：「熱損失係数」のこと。住宅の断熱性能を数値的に表したもので、値が小さいほど断熱性能が高いことを示す。外壁や天井・床などから熱の逃げる量（熱損失量）を計算し、合計したものを延床面積で割って算出する。

※4 IVb地域：次世代省エネルギー基準に基づく地域分類のひとつ。IVは主に関東以西から九州の平野部が該当、bはその中の比較的温暖な地域（東京23区などを含む）。同基準は日本全国を気候によりI～VIの6地域（IとIVはさらにa、bに分類）、地域ごとに断熱や日射遮蔽などの基準値を示している。

②独自の省エネ・創エネ設備

- ・グループ会社の(株)デンソーおよび(株)コロナと共同開発し、風呂の保温制御方法などをオリジナル化した「エコキュート」によって、給湯からのCO₂排出量を削減。
- ・防犯性と通風を両立したブラインドシャッター「エアリーガード」によって、窓を開けての就寝や外出が可能で、通風により室内温度の上昇を抑制。冷房日数を減らすことで、暖冷房でのCO₂排出量を削減。
- ・CO₂排出量は1990年頃に建てられた一般的な住宅に比べ約52%削減、年間光熱費は約183,000円削減できる（トヨタホームモデルプランでのシミュレーション：下図参照）。
- ・変換効率を改善し、出力を向上させた「太陽光発電システム」を搭載することで、さらに光熱費とCO₂排出量を削減することができる。



2. 最長60年保証の長寿命の家

①大地震後も住み続けられる高い耐震性と、更なる安心のための制震装置「T4システム」

- ・125mm角の太い鉄骨柱等によって標準仕様で、住宅品質確保促進法（品確法）の住宅性能表示でトップランクの「耐震等級3」の基準（倒壊防止）を大きく上回る強さを持つ。
- ・さらに制震装置「T4システム」（オプション）の設置によって、建物の変形量を約20～70%低減^{※5}し、クロスのしわや切れといった軽微な被害も約1/3に軽減^{※5}（2008年11月の実際の建物を使った公開実験で効果を実証）。



T4システムの減衰装置

※5：当社実験結果による。変形量の低減幅や被害は地震波やプラン等によって異なる。

②高い構造体の防錆性能・高耐久の基礎

- ・鉄骨の部材加工後に防錆塗装（カチオン電着塗装）を実施するため、梁孔や細部までしっかり防錆塗装。壁内部に比べて錆びやすい床下は「高耐久メッキ鋼板＋カチオン電着塗装」で防錆。
- ・基礎コンクリートの配合を見直すことで、中性化対策を実施、高耐久性を持つ。

③鉄骨ラーメン構造による優れた間取り可変性（リフォームのしやすさ）

- ・鉄骨ラーメン構造のトヨタホームは、筋交いや耐力壁が一切不要なため、ライフスタイルの変化や家族構成の変化にも間取りの変更で柔軟に対応でき、リフォームがしやすい。

3. 快適な居住空間

①鉄骨ラーメン構造の特徴を活かした大空間・サッシの採光率を平均11%向上

- ・耐力壁や筋交いが不要な鉄骨ラーメン構造を活用した大空間・大開口が、明るく風通しのよい空間をつくる。
- ・サッシの枠をスリム化しガラス面積を広げることで、意匠性を高めるとともに、採光性を従来のサッシに比べ平均で約11%向上。

②「カットコンポ」で敷地を有効活用、プラスアルファの空間も

- ・都市近郊部の厳しい斜線規制をクリアしながら、敷地を有効に使い豊かな居住空間を創出する「カットコンポ^{※6}」を新設。従来よりも北側に建物を配置でき、南側の庭を大きく使える。また、プラスアルファ空間として、趣味室や居室・収納などの拡大にも活用できる。

※6「カットコンポ」：ユニットに取り付ける斜線対応したコンポーネント



③無駄になりがちな空間を収納として活用

- ・居室をスッキリ広く使うため、収納を充実。階段上部や畳コーナー下を収納として有効活用。

4. 洗練された外観・インテリアデザイン

①上質な外観デザインをつくる、彫り深い外壁と、多彩なタイル外壁

- ・彫りの深い外壁と22柄101色から選べるタイルをコーディネートすることで、個性豊かな飽き

の来ない外観をつくることができる。外壁柄は、自然石の質感を再現した鉄平石柄など、4柄から選ぶことができる。

- ・サッシ枠を従来に比べスリム化したため、外観全体を引き締め、シャープな洗練されたデザインにできる。



鉄平石柄外壁

②上質感にこだわったインテリアデザイン

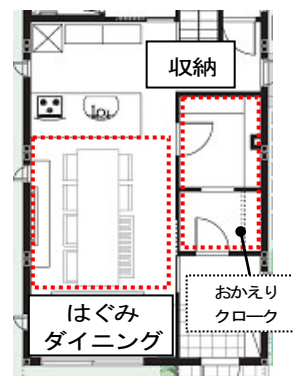
- ・建具や把手等細部の形状を上質感のあるデザインに改良するとともに、従来からあるコーディネートでの床・建具色を共通化し、互換性を持たせることで選択範囲を拡大。

<シンセ・はぐみ>

- ・20代後半から30代前半の一次取得の子育て世代に向けた商品。
- ・間取り可変対応力を活かし、将来のリフォームを提案。
- ・トヨタホームの普及価格帯商品。

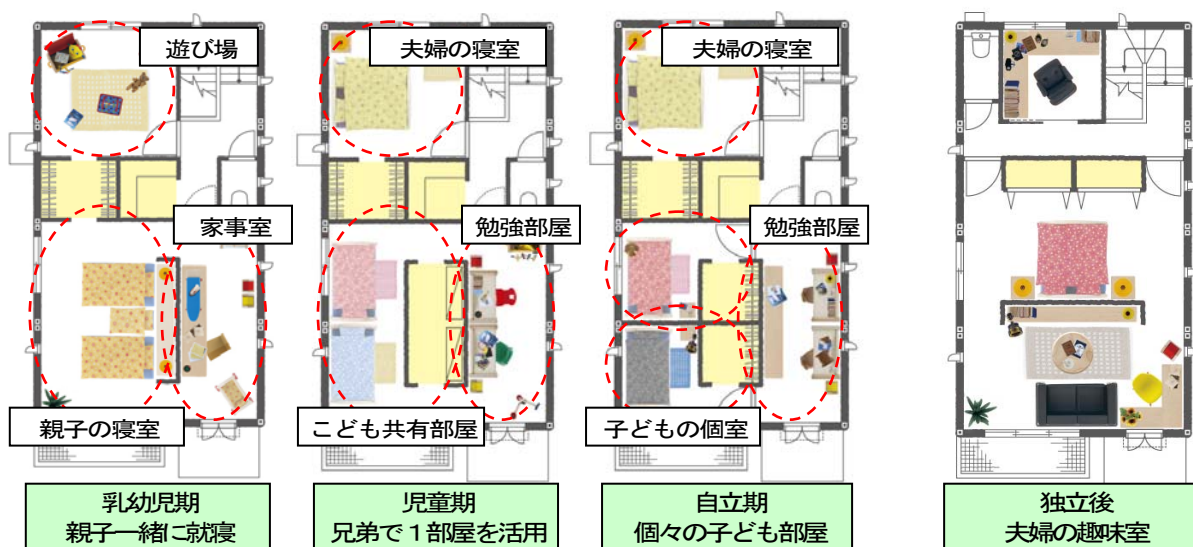
1. 家族のコミュニケーションを満喫できる「はぐみダイニング」

- ・家族のコミュニケーションの中心として、大空間「はぐみダイニング」を設置。食事だけでなく、遊びや勉強など家族が自然と集まり、コミュニケーションを満喫できる場として新たに提案。
- ・ダイニングを広くスッキリ使うために、収納を広くまとめて隣接して設置。玄関からアクセスする「おかえりクローク」とつなげることで使い勝手が良く、片付けやすい収納として提案。



2. 間取り可変性を活かした、成長する2階キッズルーム

耐力壁が不要だからできるトヨタホームの間取り可変性を活かし、2階のキッズルームは子育てステージに合わせた可変プランと、子どもが独立後の夫婦二人の生活を考えたプランを提案。



- ・子どもの成長に合わせた3つの活用方法を提案。幼い時期は親子一緒に就寝し、就学以降は共有の子ども部屋に。自立期には間仕切壁を設け、個室として使える。
- ・子どもの独立後は夫婦二人の生活の場として、趣味を楽しめる場所や、孫が遊びに来たときなど多目的に使える和室などを提案。

3. 家族で選べるデザイン

- ・外観デザインは、3つの屋根形状（寄棟・切妻・フラット）から選択できる。
- ・外観コーディネートは、建物のベースカラーとアクセントカラーの組合せと、塗り分け方によって、様々なイメージの外観デザインが作れる。
- ・子供との会話や食事の準備などを楽しめるワイドオープンタイプのキッチンを標準装備するなど、子育て世代に向けた仕様装備を充実。様々なオプションパックも用意している。



「シンセ・ソレスト」



「シンセ・はぐみ」

以上

本内容はニュースリリース時点の内容となります。
ニュースリリース以後の内容は、トヨタホーム各販売会社へご確認下さい。